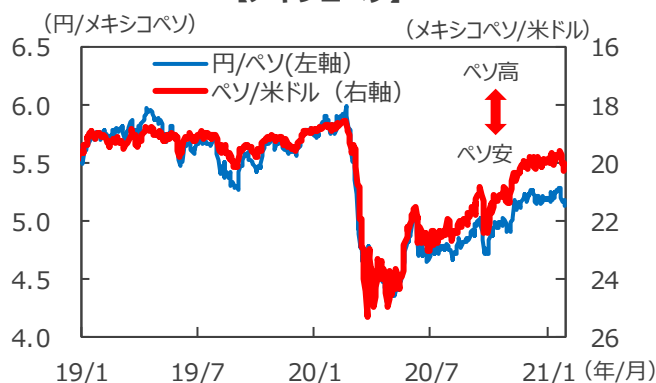


今日のトピック **メキシコペソは堅調推移**
バイデン米政権への期待がメキシコペソを後押し

ポイント1 **メキシコペソは1月に一段高**

- メキシコの通貨ペソが堅調に推移しています。新型コロナの感染拡大の影響により昨年3月にかけて急落しましたが、その後底入れし、米国の実質金利の低下に伴うドル安地合いを背景に上昇基調を続けています。今年1月に入ると一段と上昇し、一時対ドルで約10カ月ぶりの高値を付けました。
- メキシコペソの一段高の背景には、米民主党が大統領と上下両院で多数派を確保する「トリプルブルー」となったことがあります。米国での大規模な財政出動により、米景気の回復に伴ってメキシコ経済も持ち直すとの期待が高まりました。また、メキシコに強硬な姿勢で接していたトランプ政権に比べ、米国との関係が改善するとの期待もメキシコペソを支えているとみられます。

【メキシコペソ】



(注1) データは2019年1月1日～2021年1月27日。
(注2) メキシコペソ/米ドルは逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【メキシコペソと原油価格】



(注1) データは2019年1月1日～2021年1月27日。
(注2) メキシコペソ/米ドルは逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 **原油価格の上昇も追い風**

- さらに、原油価格の上昇基調も、産油国通貨であるメキシコペソの押し上げ要因と考えられます。産油国の減産に伴う需給引き締めまりへの期待などから、原油先物指標のWTIは今年に入り、約10カ月ぶりに1バレル50ドル台を回復しました。世界的に景気回復期待が高まるなか、足元は52ドル台に強含んでおり、メキシコペソへの追い風となっています。

今後の展開 **バイデン米政権への期待がメキシコペソを後押し**

- 1月26日発表の国際通貨基金（IMF）の経済見通しによれば、2021年のメキシコの成長率は前年比+4.3%と、昨年10月の前回予測から0.8ポイント上方修正されました。IMFは、米国などの追加経済対策やコロナワクチンの普及を踏まえて2021年の世界の成長率を引き上げており、バイデン米政権による経済対策で米景気が回復すればメキシコ経済も恩恵を受けるとみていると思われます。メキシコ経済の停滞からの脱却ペースは依然として弱いものの、メキシコペソは景気回復期待から今後も堅調な展開が見込まれます。

ここもチェック! **2020年12月18日** **メキシコ、2会合連続で政策金利を据え置き**
2020年11月16日 **メキシコ、政策金利を予想外に据え置き**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。